

令和5年度事業報告(自 令和5年4月1日～至 令和6年3月31日)

1. 人材の養成に関する育英事業(公益目的事業1)

【貸費生 実績推移】

年度	申込人数	決定人数	貸費者数	年間貸費額	貸費残高
平成 29	18	18	67	29,280	199,176
平成 30	17	17	62	26,700	186,845
平成 31	18	18	53	22,380	179,767
令和2	7	7	46	18,840	169,073
令和3	3	3	34	14,700	157,943
令和4	10	10	27	12,240	141,431
令和5	15	15	32	14,460	122,342
令和6	6	6	26	11,760	111,597

【若葉給付生 実績推移】

年度	申込人数	決定人数	給付者数	年間給付額	基金残高
平成 29	17	2	2	480	
平成 30	12	2	4	960	
平成31	17	3	7	1,680	
令和2	7	1	7	1,680	
令和3	3	1	7	1,680	
令和4	9	2	5	1,200	4,493
令和5	12	2	5	1,200	5,394
令和6	4	3	7	1,680	6,296

【課題と対応】

- ・申込人数は回復傾向にあったが、足元では減少。また貸費残高は漸減傾向止まらず
- ・若葉給付にかかる基金残高は、漸増傾向で当面給付原資に不足は生じない見通し。
- ・募集活動及び要項の一部を見直し、応募機会を高める方策を実施する。詳細は報告事項(2)でご説明いたします。

2. 文化財の維持・管理および公開事業(公益目的事業2)

(1)国指定重要文化財「丙申堂」と国登録有形文化財「無量光苑釈迦堂」の入場者数推移

年度	丙申堂	釈迦堂	合計	前年比
令和1(コロナ発生)	9,094	7,559	16,653	
令和2	3,461	2,672	6,133	37%
令和3	3,675	2,561	6,236	102%
令和4	5,408	4,232	9,640	155%
令和5	6,189	4,712	10,901	113%

【課題と対応】

・コロナ直後の落ち込みを徐々に回復している状況も、コロナ前には届かず。

- ・4月から、「ご来館カード」を記入いただき、県の内外、1組の人数、当館を知ったきっかけなどを
お答えいただき、今後の周知・広報活動に活かしていく。

(2)イベントについて

- ・令和5年4月28日 YBCテレビ 市内循環バスPR番組収録
- ・6月30日 松本健一ジャズライブ(舞踏との共演) 60名
- ・7月15日 芭蕉小祭り 吟行俳句会
- ・11月18日 東京大学文学部鶴岡セミナー 60名
- ・令和6年3月9日 鶴岡雛物語(～4月3日) 入場者は582人(前年は730人)

参考;令和6年11月16日(土) 第2回東大文学部セミナー開催予定

3. 山林を活用した地球環境保全事業(公益目的事業3)

(1)藤沢の山林で開催している森林体験学習会

- ・令和5年6月10日(土) 参加者8名 インストラクター1名 スタッフ8名
- ・令和5年10月29日(日) 参加者16名 インストラクター1名 スタッフ5名

※10月開催は、新たに鶴岡市の後援を頂き、市内小学校の4年生全員に、学校経由で案内を実施したことで、増員に繋がったものです。

(2)山林の整備事業

- ・整備事業業務委託先の(有)グリーンサービス羽越の佐藤代表が11月に急逝されたことに伴い、
新社長に菅原史裕氏(村上森林組合職員)が就任。引き続き、同社に業務委託が可能となった。

4. 土地、建物の貸与事業(収益事業)

(1)基本財産の土地、建物を(株)庄交コーポレーション、鶴岡地区医師会、(株)荘内ハウジング、社会福祉法人月山福社会(2月まではNPO法人しえば)他に、また特定資産の駐車場を一般利用者に賃貸した。運用財産の土地、建物(銀座通り旧金屋リビング)及び隣地駐車場は、庄内文化センターに賃貸した。

※なお、例年通り上記収益事業の収益金から、日本仏教研究のため、東京大学文学部印度哲学仏教学研究室に対し50万円を寄附した。また、日本仏教史研究講座、特に聖徳太子講座開設等の運営資金として、公益財団法人中村元東方研究会東方学院へ同様に40万円を寄附した。

以上